

丸徳グループ

車両分科会

だ よ り

Vol.4

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ 車両（愛車）のメンテナンス
- ・ ハイドロプレーニング現象について
- ・ 愛知県警からのリーフレット
- ・ 危険予知トレーニング〔前回の解答例〕
- ・ 今月の危険予知トレーニング

梅雨の季節に！ 愛車の点検・メンテナンス



雨が多く湿度が高くなる時期は、前方の視界の確保が絶対に必要になります。
また、濡れた路面を走行するので、タイヤの残溝の確認も重要になります。
梅雨の季節の点検・メンテナンスで『雨』と『湿度』対策を行いましょう！

①ワイパーの点検

ワイパーブレード・ゴムの点検を行いましょう。
下記の症状がある場合は交換を！



スジ状の線が残る



ビビリ音がする



拭きムラができる



水がニジミ状に残る

②タイヤの空気圧・残溝の点検

ガソリンスタンドで空気圧のチェック。
タイヤのスリップサインが出てたら交換を！



③エアコンフィルターの点検

フロントガラスの曇りが取れない、
エアコンの風が臭い等の症状がある場合は、
エアコンフィルターの交換を！



その他の点検・メンテナンス

★ウインドウォッシャーの液量チェック
➡少ない場合は補充を！

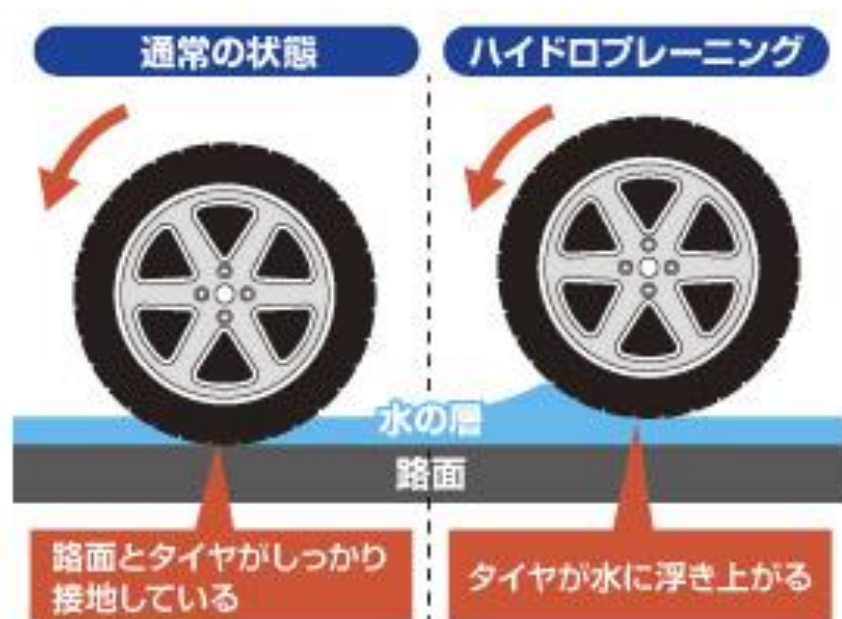
★ライト・方向指示器の汚れ・損傷チェック
➡清掃/交換を！
※手で触って緩みがないか確認



「ハイドロプレーニング現象」 ～雨天の路面に潜む危険～

雨が降り路面に水がたまった状態である程度のスピードを出し走り続けていると、タイヤの排水能力がオーバーしてしまい、突然タイヤが路面を掴みきれなくなってクルマのコントロールが効かなくなる現象のことをいいます。

◆路面状態とスピードの出し過ぎが要因になります。



道路に水が溢れ、タイヤが排水できる量を上回る水が溜まり、**路面に水の膜ができます**。特にスピードを出して走行する**高速道路で発生しやすい**と言われています。

◆現象が起こるとどうなる？ 対処方法は？



タイヤが本来持つ性能を発揮できず、ステアリングを操作しても、ブレーキを踏んでもクルマは**一切コントロールを受け付けません**。対処法はまずは「**何もしない事**」です。ハンドルを切ったり、ブレーキを踏んだりせずにそのまま減速し、**タイヤが道路に接地してコントロール可能な状態となることを待つ**必要があります。



- 濡れた路面、雨天時は速度を控えて走行する。
- タイヤの空気圧を規定値にする。
- タイヤの溝が十分にある状態で走行する。

交通事故防止のPOINT

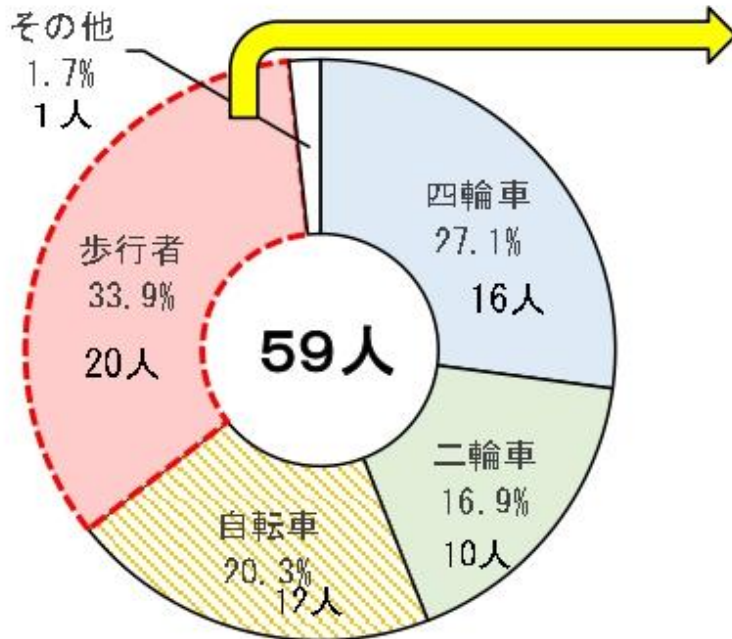
6月



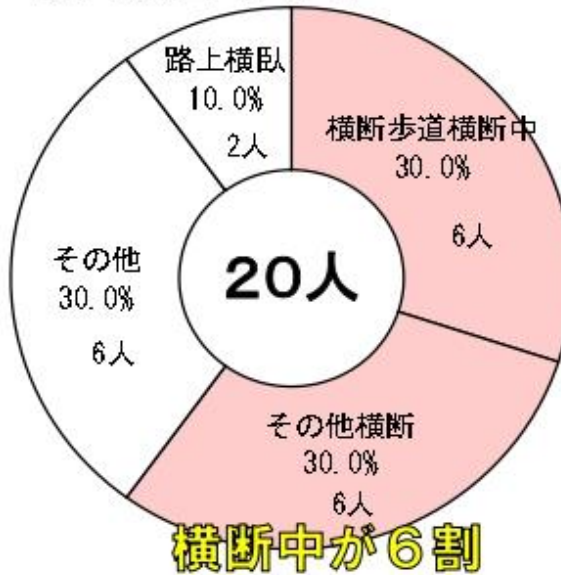
6月は、歩行者死者が多発傾向！

《 過去5年 6月 当事者別死者数 》

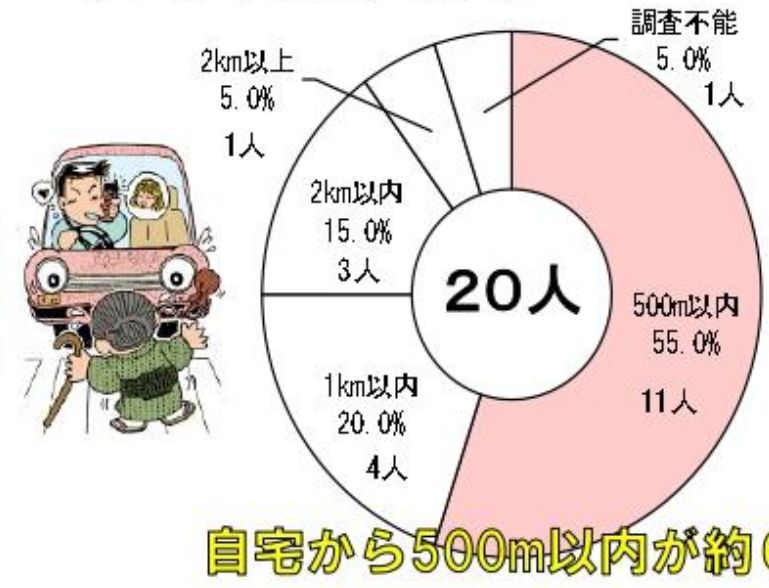
～ 歩行者死者20人の特徴 ～



【事故類型（人）】



【自宅からの距離（人）】



自転車死者の実態

～自転車乗車時は、ヘルメットを着用しましょう～

《過去5年上半期 月別・年齢別自転車死者数》



《 過去5年 自転車死者のヘルメット着用状況等（人） 》

自転車ヘルメット着用の有無



ヘルメット有無の致死率



自転車安全利用五則

自転車利用時は、次のことを遵守すること

- 一 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 二 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 三 夜間はライトを点灯
- 四 飲酒運転は禁止
- 五 ヘルメットを着用



交通安全ソング～愛を知る街～

ここを読み込んで聴いてみてね！

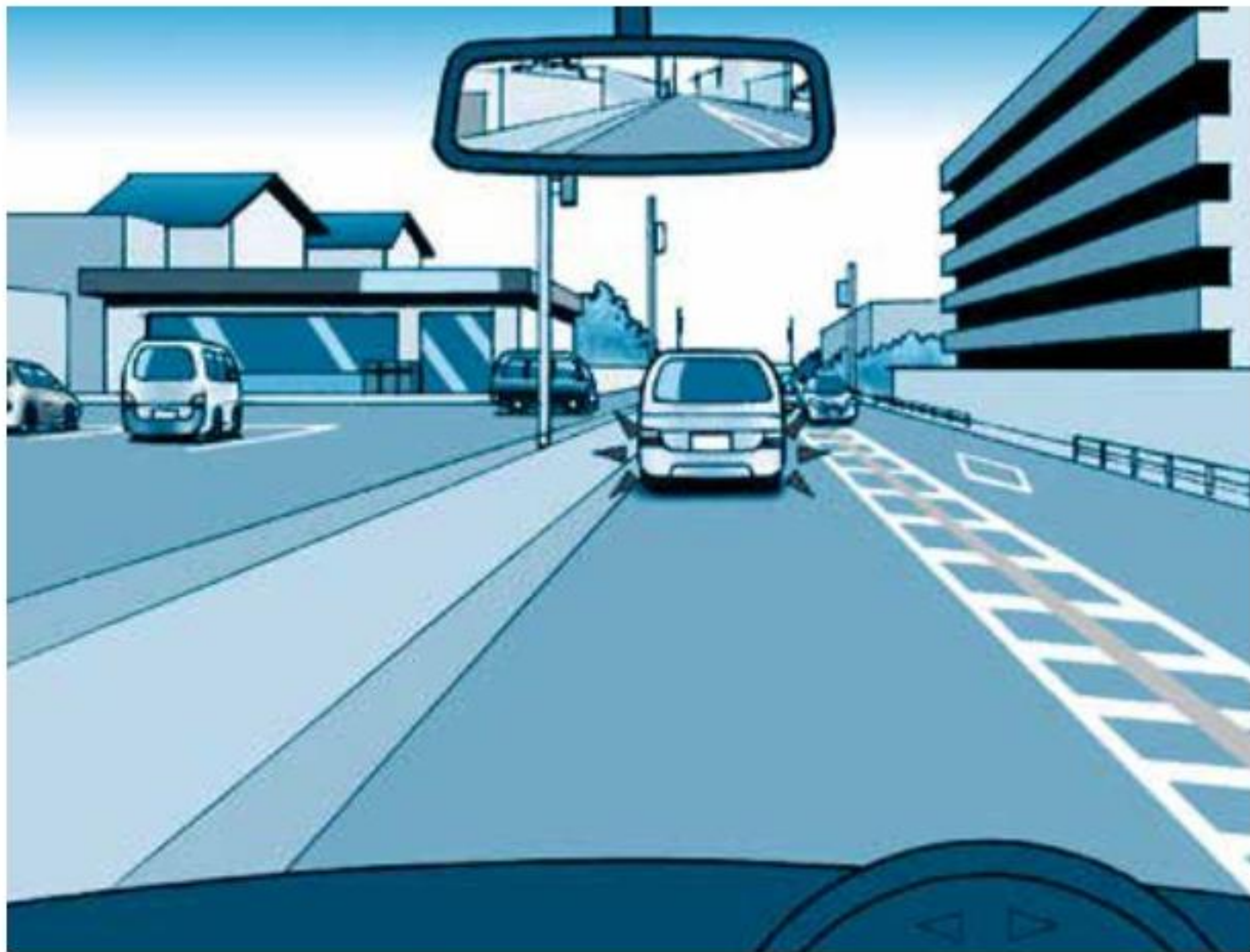


自転車に乗る時は、「大人」も「子ども」もヘルメットをかぶりましょう。

自転車事故の際、車体や路面等に頭部をぶつけて重篤な事故に至るケースが多く見られ、またヘルメットを着用していなかった方の致死率は、着用していた方に比べて2倍以上も高くなっています。自転車に乗る時は、ヘルメットを正しく着用して安全行動に努めましょう。

※各表は、過去5年（H30～R4）に愛知県内で発生した交通死亡事故等を分析した結果です。

毎号、危険予知トレーニングのイラストや写真を掲載します。運転者として、又は同乗者として潜む危険を見つけて下さい。



回答例

危険予知ポイント

- ① 対向右折車に道を譲ろうとして減速した前車に追突する。
- ② コンビニの駐車場に入るために右折してきた対向車と衝突する。
- ③ コンビニの駐車場から出てきた車と衝突する。

❖ 前車の減速を予測しておく

- 前車との車間距離を詰めていると、前車が駐車場に出入りする車に道を譲ろうと減速・停止した場合、追突する危険があります。
- 前車の減速・停止に対応できるように、十分な車間距離を保ちながら走行しましょう。

❖ 駐車場の出入口付近では危険を予測し、慎重な運転を

- 漫然運転をしていると、前車通過後にコンビニの駐車場へ入ろうとしている対向右折車や、コンビニの駐車場から道路に出てくる車と衝突する危険があります。
- 対向右折車や駐車場から出ようとしている車の動静に注意して進行しましょう。

KYT(危険予知トレーニング)

毎号、危険予知トレーニングのイラストや写真を掲載します。運転者として、又は同乗者として潜む危険を見つけて下さい。



ドライバーとして

- イラストを見て、この運転場面に潜む危険要因を挙げてください。
- この場面での安全な運転方法について考えてください。

同乗者として

ドライバーにどのようなアドバイスをすればいいでしょうか。考えてください。

状況説明

豪雨のなか、高速道路の走行車線を走行しています。自車の前方は、トラックが走行しています。

自車はこのまま進行したいのですが……。

回答例は次回の車両分科会だよりに掲載します。